



栃の子だより

No.13

栃の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉ゆたかな人 須坂市立小山小学校

☆人権教育授業参観、遠藤守信先生の講演会参加、ありがとうございました。

11/22(金)、お忙しい中、大勢の皆さんにご来校いただき、ありがとうございました。各学年の段階に応じた人権に関わる学習の様子はいかがだったでしょうか。「なかよし月間」に合わせての授業でしたが、人権感覚は家庭でのご指導も含め生活全体の中で育っていくものです。周りの人や友達との関わりの中で、「これはおかしいんじゃないか」「まちがっているかも」…といった人権への意識を共に高め磨いていきましょう。



グループで人権を考える(6年)



P T A 講演会では、本校ご出身の信州大学特別特任教授 遠藤守信先生のお話を、全校の子どもたち、保護者の皆さんとともに聴くことができました。

「私の宝もの～小山小学校で学んだこと～」と題して、遠藤先生の小学校の頃の様子からカーボンナノチューブを使った最先端の研究の

お話と共に、小学校時代の6年間にたくさんの「宝もの」をつめこんでほしいと話され、子どもたちへのメッセージとして、「この広い宇宙の中で一つしか存在しない大事な一人、この社会の役に立つように勉強してほしい。」そのためには「いろいろなものへの好奇心を大事にする。」「夢や希望に向かって、決してあきらめずへこたれず努力する。」「Never Give up!」・・・と。子どもたち全員に、組み立てると“フラーレン C60”というサッカーボール型の炭素分子の構造となる模型キットまでいただきました。(イギリスから輸入された高価なものです。ぜひ組み立てて、六角形と五角形が組み合わされるとサッカーボール型になることを体験して下さい。) ノーベル賞にノミネートされる遠藤先生の貴重なお話を、地域の方を含めて大勢の保護者の皆さんにも聴いていただくことができました。ありがとうございました。



* * * * *

☆『なかよし月間』の取組から

←各教室入り口や廊下に掲示された、「なかよしの木」

(友達の良いところ、をたくさん見つけます)

[裏面へ](#)



「にこにこタイム」や児童集会で、学年・学級の枠を越えてみんなで楽しくゲーム・遊びをしました。



「縦割り班」での清掃・・・上級生が優しく下級生に掃除を教えたり一緒に雑巾がけをしたり・・・。



交流学年で焼きいも大会。焼けるまで楽しく遊んで、ホクホクのイモと一緒に食べました。(写真は1,6年)

◎今日は児童会主催の『柝の子祭』

…低・高のペアグループで、各児童委員会の企画したゲームのコーナーを回って楽しみました。様子をお子さんにお聞き下さい。

☆「教室や学校もいろいろな人がいて当たり前、それぞれのちがいをよさを**リスペクト**する！」

< 11/18(月)、校長講話より[概略]>

R1,11.18(月),校長の話

All for One, One for All
みんなはひとりのため、ひとはみんなのために



今日は、『なかよし月間』です。

先週から「縦割り清掃」が始まり、交流学級・学年で遊びやゲームをしたり、焼きいも大会をしたり、学級でなかよしのことを考え合ったりしています。

今日は、『All for One One for All<みんなはひとりのために ひとりはみんなのために>』というお話をします。

一学期のなかよし旬間では、同じ動物たちの顔もいろいろあって、先生方もいろんな先生がいて、「みんなちがって みんないい」「一人一人のいいところやよさ、優しいところや頑張っているところ・・・をいっぱい見つけて、『みんないいよ！』を目指しましょう」というお話をしました。

一学期(がつき)の「なかよし旬間(じゅんかん)」ではなしたこと

『みんなのなかよし』より、みんないい! 先生がたも、みんないい!

コリタ

「みんなちがって みんないい!」

その人(ひと)の、いいところ・よさ・やさしいところ・がんばっていること・・・を見(み)てあげる(あ)げること。

自分(おれ)のいいところや友(とも)だちのいいところをいっぱい見(み)つけて、『みんな いい。』をめざしましょう!

て、「みんなちがって みんないい」「一人一人のいいところやよさ、優しいところや頑張っているところ・・・をいっぱい見つけて、『みんないいよ！』を目指しましょう」というお話をしました。クラスの友だちや学年の友だち、学校のいろいろな人の「いいところ」を見つけたり、気づけたりできる自分になれましたか？または、少しでも気づくことができる努力をしましたか？今日は、その「いいところ」をみんなで認め合ったり生か

し合ったりしていきましょうというお話をします。

ラグビー・ユニオンが一つのチームを組むために、ひとりひとり役割(やくわ)をもち、みんなが協力(きょうりょく)をしようよ、しあう。

このボールを知っていますか？ラグビーボールですね。ついこの間まで、日本で4年に一度のラグビーのワールドカップが開かれていて、日本代表も世界のベスト8まで勝ち進んでとても盛り上がりました。ラグビーは、このボールをめぐって、はげしくぶつかり合ったり(タックルと言います)、スクラムを組んで押し合ったり、ジャンプしたり、蹴ったり、・・・してボールを相手の陣地の中に運んでトライをします。このトライをとるために、一人一人が役割をもって、みんな協力し合います。

ラグビーの特徴の①「いろんな人が集まっている」ということです。

日本代表の選手を見ると、まずはいろんな国の人が日本の代表として活躍していました。韓国やトンガ、ニュージーランド、南アフリカなど、代表31人中、15人が外国出身の人が集まっています。そして、身長は166cm～196cmと、とても背の高い人から少し小柄の人まで、また体重も70kg～100kg以上ととても重い人から身軽の人までいます。それはそれぞれの役割があって、押す力の強い人、タックルや前に進む力の強い人、足の速い人やキックが上手な人・・・と一人一人の得意なこと・ちがい＝よさを生かしてみんなトライを取りに行くというラグビーの特徴があるからです。

特徴(とくちょう)① **いろんな人があつまっている。**

うまれた国(くに) / 身長(身長) / 体重(たいりゆう)

代表選手(だいひょうせんしゅ) 166cm～196cm

人(ひと)の中(なか)、外国(がいこく)の生まれの選手(せんしゅ)が15人も・・・韓国(かんこく)、トンガ、ニュージーランド、南(みなみ)アフリカなど

体重(たいりゆう) 70kg～100kg以上

いろいろな人があつまっている。身長(身長)も、体重(たいりゆう)も、ちがいます。みんながそれぞれの役割(やくわ)をもち、協力(きょうりょく)をしようよ、しあう。

特徴の②は、前回のワールドカップで活躍した、五郎丸選手が言っていたのですが、ラグビーでは試合がおわると、「ノーサイド」と言って、それまで激しくたたかって勝ち負けはつくけれど、試合が終われば敵も味方もないということです。そして、勝ち負けに関係なく、あんなに激しくぶつかり合った相手でも、互いにたたえ合い、尊敬し合う、「相手をリスペクトする」ということです。テレビを見ていると、試合の後、必ず握手したりハグしたり、互いに拍手でたたえ合ったりし

特徴(とくちょう)② **「たが ... かわマ」 "ノーサイド" 相手(あいて)をリスペクトする。**

いっけはげしくたたかった相手(あいて)でも、試合(しあひ)がおわれば、敵(てき)も味方(みかた)もない。

勝(かち)、負(まけ)も関係(かんけい)なく、たがいをたたえ合(あ)い、尊敬(そんけい)し合(あ)う。

